

平成30年度特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報技術研究功労者】

VALUENEX 株式会社 代表取締役社長
中村 達生

功 績

三菱総合研究所（MRI）に入社され、オペレーションズ・リサーチ、知財分析、データマイニングなどを研究対象の専門分野とする一方、各種分野における一般的な知財調査のみならず、技術動向調査、研究開発マネジメント、知財分析など様々な業務に取り組みました。それらの業務経験を活かし、また、経験に基づいてその必要性に関する知見を得て、可視化アルゴリズムや俯瞰解析ソフトウェアを開発されました。MRI では、これらを利用した無料サービスの提供等を行われておりました。

その後、2006年に株式会社創知を設立し、代表取締役 CEO に就任されました。2007年4月に特許可視化ツール XLUS(カイラス)、2012年11月に TechRadar on Cloud、2013年11月に DocRadar on Cloud のサービスを開始しております。

VALUENEX 株式会社への社名変更後、シリコンバレー進出、2018年10月には東証マザーズ上場など、知財調査・ビッグデータ・予測分析分野でイノベーションを起こしております。

研究を進めてきた技術については、各種学会への論文の寄稿・発表等が行われ、特許出願により日本と米国の特許も保有されております。

VALUENEX のサービスのコアとなる技術は、元々中村氏が研究開発したものであり、これらの技術を利用した特許情報の可視化・分析は現在、特許情報業界に限らず新規事業創出やベンチャーへの投資検討などのイノベーション分野で脚光を浴びており、中村氏の技術研究、活用研究は、特許情報業界に大きな貢献をもたらしたものだといえます。

名誉ある賞をいただきましてまことにありがとうございます。私は特許文献の網羅性と高品質な技術書としての側面に魅力を感じ、自らの得意とするモデリングスキルを用いて解析を行ってきました。一方の特許文献の権利書としての本来の目的用途とは異なることから、自分は知財の世界では部外者であると認識していましたので、今回の受賞を通じ、業界への仲間入りを認めて頂いたことも嬉しく思っています。現在は、グローバルな活動を積極的に行い、知財情報を用いた解析のプレゼンスを世界に広げてゆきたいと考えており、一年の半分近くを国外で過ごしております。今後ともみなさまのご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

